

令和7年第1回滝川市議会定例会市政執行方針等に対する代表質問

質問順位	1	質問者	好川 章 議員	
件名	項目	要 旨		メ モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 令和7年度における市政運営について	1. 本市においては、滝川市立病院の経営悪化やふるさと納税の寄付額の低下、未だ市民生活を苦しめる出口の見えない物価高騰など、不安要素が散見される中、令和7年度の市政運営の舵取りをするにあたり、現状認識と今後の方向性について市長の考えを伺います。		
	2. 災害に強い安全・安心なまちづくりについて	1. 市は継続的に地域防災力の向上を図っており、防災訓練の実施や防災サポーターの充実などの成果は、市民生活の安寧をもたらす一助となっており、大変嬉しく思います。さらなる防災力強化として災害時の自助・共助の一翼を担う防災士の育成に対する事業や近年担い手不足が深刻であり、地域に深く密着している消防団員の人員補充について対策が必要と考えますが、市長の考えを伺います。		
	3. 市内バス路線について	1. バスで入浴施設を利用できるようにしてほしいという市民の声をよく耳にします。地域子育て支援センターの移転による利便性向上の必要性和新しい海洋センターの整備も控えていることから、滝川ふれ愛の里等に新しいバス停の新設が必要と考えます。 路線の変更等には法整備や許認可等の様々なハードルがあるとは思いますが、将来無理のない施設運営をするためには、市民の利用促進策を検討すべきと思いますが、市長の考えを伺います。		
	4. 滝川駅周辺地区再生整備基本計画について	1. 市長は、滝川駅周辺地区再生整備基本計画に基づく滝川駅周辺地区再生整備事業については、将来的な財政見通しが予測できない状況を踏まえ、事業の一旦停止を英断されたことは、市民生活を守るために適切な判断をされたと思います。 しかし、いつまでも駅前を現状のまま放置することは、市民も望んでいないと考えます。政府が進める地方創生などに関連する有利な交付金等を模索して、財源的に可能であればスマイルビル解体や、旧滝川バスターミナルの取得などを進めるべきと思料しますが、市長の見解を伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	5. 滝川市立病院について	1. 市立病院経営強化プランには「経営形態は地方公営企業法一部適用として継続する」とありますが、「有利な経営形態の見直しを検討する」ともあります。 「地域医療構想モデル推進区域」認定を受け、今後中空知地域内の関係各所と協議されることとは思いますが、市として市立病院に対して地方公営企業法全部適用やその他の経営形態への移行などについてどのような考えかを市長に伺います。		
		2. 診療医師の不足、公務員全体の給与の上昇及び医療機器材を含む物価高騰により市立病院の経営は厳しい状況が継続するものと推察します。このような状況において、昨年、中空知地域が、北海道で唯一国の「地域医療構想モデル地区」に選定され令和7年度から機能分担化や管内病院間の連携強化要領などが検討されると思います。やり方次第では安定した病院経営を行うための千載一遇のチャンスであり、他自治体との関連性もありますが、滝川市がリーダーシップを発揮して主導的に検討を進めるべきと思いますが、市長の考えを伺います。		
2. 安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち	1. こども家庭センターについて	1. 妊娠期から出産と子育て期までの母子保健・子育て支援の両分野に関する専門職員による組織体制を構築して分野を横断して切れ目のない支援をするとありますが、専門職員による分野を横断した連携でどのような効果が見込めるのかを伺います。		
	2. 滝川ふれ愛の里及び子育て支援センターについて	1. 一の坂地域子育て支援センターをふれ愛の里に移転した上で、母親の「コミュニティスペース」、「リフレッシュスペース」を併設した母親のためのレスパイトケア事業は素晴らしい取り組みだと思います。そこで、施設利用可能時間、対象となる幼児の年齢、スタッフ内訳及び人数、運営形態などを伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	3. 保育 I C Tについて	1. 中央保育所で有効性が認められ、市が滝川市社会福祉事業団の保育所の導入に対し支援をすることは、滝川市のより多くの保護者の利便性向上や保育士の負担軽減が見込めると推察します。その上で、保育 I C Tシステムが保育所に行きわたることにより、例えば市の保育関連施設間の連携構築など、今後どのような効果に期待できるか見解を伺います。		
	4. 子育て世代の女性の健康維持について	1. 骨検診費用助成を対象者の女性に対して、ナッジ理論を活用した個別勧奨や健康診断のオプション化など、告知・啓発についてどのような方法で行うのかを伺います。また、産後ケア・産婦健康診査の新しい項目に対する告知・啓発方法についても伺います。		
	5. 子どもの医療費助成について	1. 子育て世代の負担軽減を図るため、引き続き、中学生までの子ども医療費の無償化を実施するとありますが、今後、対象範囲を高校生までに拡大することが望ましいと思います。しかしながら本市においては財源的に厳しいという現状も認識しており、1歳単位で対象範囲を徐々に広げていくなど、柔軟に検討すべきと考えますが、見解を伺います。		
	6. 学校給食費の支援について	1. 政府は令和8年度より給食を無償化にする方針です。本市においては、子育て世帯の経済的支援を図るため、学校給食に係る精米を含む食材費上昇分について公費負担とするとされていますが、先の見えない物価上昇に鑑み、政府の取り組みに先んじて、今年度に1割でも、2割でも公費負担を増額して、子育て世帯の負担を軽減するべきだと考えますが、見解を伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	7. 國學院大學北海道短期大学部について	1. 國學院大學北海道短期大学部の存在は、地域に質の高い教育を提供するとともに、本市に多大な経済効果をもたらしています。また、学生によるボランティア活動や地域イベントへの積極的な参加など、本市における若さと活気原動力となっており、なくてはならない存在であると認識しています。 その上で、安定的な学生確保や卒業後の地元定着への取り組み、開学50周年を見据えたさらなる連携強化とありますが、市長は同短期大学部との関係をより強化するためには何が重要だと考えているのか伺います。		
	8. 新小学校基本計画策定事業について	1. 建築後60年を超え、老朽化により多くの市民に早急な新小学校建設が望まれていた第一小学校の建て替えが、令和6年度に策定した基本構想に基づき基本計画が策定されました。基本計画のスケジュールについて伺います。		
3. 健康で、優しく、安全に暮らせるまち	1. 市立病院の人材確保について	1. 昨年度は、医師が不足して大変厳しい経営状況であり、人材確保は喫緊の課題であると思いますが、今後の医師確保の見込みとどのような施策が効果的であるか考えを伺います。		
		2. 看護師をはじめとした職員の離職防止について、心身不調で休職などの状況にある職員に対するケアはどのように行っているのかを伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 市立病院経営改善検討会議について	1. 院内に設置される市立病院経営改善検討会議の今後のスケジュールと市との連携や情報共有などについては、どのように行われるのかを伺います。		
	3. 地域における防災力の向上について	1. 避難行動支援者に対する、より実効性のある個別避難計画の作成及び更新はこれまでの状況とどのように変わるのかを伺います。		
	4. 市民生活の安全確保について	1. 消防救急デジタル無線設備等の更新がありますが、先日も市内において暴力団員が逮捕された事件があり、自己防衛のために各商店・各家庭に防犯カメラの設置推進に対して費用補助をすべきと考えますが、市の見解を伺います。		
4. 元気で魅力ある産業と、人が集うまち	1. 持続可能な農業の発展について	1. 農家戸数の減少と農業者の高齢化が進む中で、どのような対策を行う考えなのかを伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		2. スマート農業の現状と、今後の取り組みや支援について伺います。		
		3. 農業後継者対策として、「地域おこし協力隊員」による農業の第三者経営継承を今後も進めていくことで問題がないのかを伺います。		
	2. Letara 株式会社への支援について	1. Letara 株式会社については、本市における経済の活性化や雇用の創出などにおいて、大いに期待を寄せるところでありますが、今後、北海道など関係機関と連携してどのような具体的な支援を行い、地域に根付いてもらうのかを伺います。		
5. 都市と農村が調和し、便利で、快適なまち	1. 河川機能の保全について	1. 令和2年度より実施された市内浚渫工事の進捗状況を伺います。また、滝川市においては地域の実情を鑑みると、どのくらいの頻度で浚渫工事が必要なのかを伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 事業者協力型自家用有償旅客運送の可能性について	1. 令和7年度より市が主体となりバスの市内線を運行していくことになりましたが、今後市民からの路線に対する要望などについての対応はどのようにしていくのかを伺います。		
6. 効率的な行財政運営等	1. 保健福祉部門の組織の再編について	1. 保健福祉部門の組織強化及び市政運営の効率化を図るため、現在の保健福祉部を福祉部と健康こども未来部に再編するとありますが、分けることにより、どのような効果が得られると考えているのかを伺います。また、新たに設置される健康こども未来部は、子育てに関する政策の立案はもとより4月から始まる「滝川市こども計画」の実践、「こども家庭センター」の運営など、多岐にわたる業務が予想されます。子育てに力を傾注する本市においては、組織体制を強化して臨むべきだと思いますが、市長の考えを伺います。		
	2. 財政健全化の推進について	1. 滝川市立病院経営強化プランに対して実施支援業務を拡大するとありますが、具体的に拡大内容はどのようなものかを伺います。		
	3. ふるさと納税について	1. 寄付金額が回復傾向にあるなか、既存の返礼品に対するPR強化はもとより、市内事業者等との連携において新規返礼品の開発・告知について今後どのような戦略があるのか考えを伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	好 川 章 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	4. 自治体DX推進について	1. 個人端末のみで行政サービスが完結する「行かない窓口」についてどのようなスケジュールで実施するのか考えを伺います。		
7. 学校教育について	1. 学校給食提供体制整備事業について	1. 市では給食の提供体制を整備して効率化を目指していますが、一方で給食費の無償化に向けての取り組みの推進と食材の高騰対策など厳しい状況が続いています。将来へ無理がなく、しっかりと見通しを立て次世代につなぐことが最重要であると考えますが、例えば将来、学校給食提供施設を統一するなどの考えがあるのかを伺います。		
	2. 高校の間口問題について	1. 滝川西高等学校の間口減を防ぐための施策の有無について伺います。		
8. 社会教育について	1. 地域おこし協力隊員について	1. 文化芸術活動の振興において採用する地域おこし協力隊員には市内文化団体への支援や担い手育成、文化芸術に関する鑑賞や体験事業への取り組みなどで活躍を期待しているところですが、具体的にどのような活動を考えているのかを伺います。また、任期を終了した協力隊員は継続的なケアが必要だと思いますが、見解を伺います。		